

教科	科目	単位数	学年	コース	組
地歴公民	歴史総合	2	1		1～10

教科書	明解 歴史総合（帝国書院）	副教材	明解歴史総合図説シンフォニア五訂版（帝国書院）

科目の目標	18世紀からの世界や日本の歴史を、教科書の記述や史資料を通して事実認識を深めていき、捉えた事実と事実の
	関係性について因果関係や相関関係を捉えることで抽象化して把握する。さらに、事実認識や関係認識をふまえて、
	今を生きる私たちにとってそれらがどのような意味を持ち、それにもとづいてより良い社会や国際関係とは何かを考察する。

科目の概要	18世紀からの世界や日本の歴史を大きく、近代化が進む時期、大衆化が進む時期、グローバル化が進む時期と
	捉えて、今を生きる私たちがどのような歴史に規定されており、どのような社会や国際関係をつくるのが私たちにとって
	適切であるのかを考察する。そのため、18世紀からの世界や日本の歴史を事実に基づいて的確に把握していく。

観点別評価			
3 観点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「自己実現力」、⑨「行動力」、⑩「自己管理能力」
観点の 評価	18世紀からの世界や日本の歴史において、特に近現代・大衆化・グローバル化の視点にたつて、どのような出来事が起こり、国際社会がどうなったのか、教科書の記述や史資料から事実を捉える技能を身につけるようにする。	捉えた事実に基づいて課題を発見し、その課題を解決するために必要となる考察する力を高める。また、課題や解決方法について他者と議論して、より妥当な知恵を見出し、それらを適切に言語化する力を養う。	授業内外で、歴史に対して興味や関心を深め、多面的・多角的な視点を持って、積極的に学習する力を高める。また、歴史的思考力を大事にして、現代社会の有り様を捉え、自分が社会の中で何ができるかを考察し、よりよい社会の実現に向けて行動する力を身につけるようにする。
評価の方法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第2部 近代化と私たち ・第4章 産業革命による欧米とアジアの変化 5節～7節 ・第5章 日本における近代国家の形成 1節～3節 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	支配される人々や列強諸国内部の弱者について学び、当時の人びとの生き方について考察する。また、日本における近代国家の形成過程と特徴について学び、その前後の変化を比較したり関連づけて考察し、日本が明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解して国の仕組みと身分制を含む社会制度がどのように変化したか考察する。
	第2部 近代化と私たち ・第6章 帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化 1節～5節 第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第2章 第一次世界大戦とその影響 1節～2節 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	この時期は列強が植民地支配が拡大する。その背景としての帝国主義の動きについて理解する。また、日本の近代化の進展と社会問題の拡大や植民地支配、東アジア世界の中の日本の有り様を考察する。さらに同じ時期には第一次世界大戦が起きており、大戦前後のヨーロッパ諸国の姿や国際関係が変化していく様相について具体的に学び、世界や日本への影響について考察する。
2 学 期	第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第2章 第一次世界大戦とその影響 3節～5節 ・第3章 大衆社会の形成と社会運動 1節～4節 ・第4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方 1節～2節 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	戦間期の欧米諸国や日本の政治、国際関係を学び、国際平和の実現にはどのような方法や考え方が必要となるかを追求する。また、世界恐慌により人びとの生活にどのような変化が生じ、それが第二次世界大戦に向かっていく動きの1つとなったことを捉え、どのような社会を作ることが国際平和にとって必要なのか考察する。
	第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・第4章 揺らぐ国際秩序と日本の行方 3節～4節 ・第5章 第二次世界大戦とその影響 1節～7節 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の回復などをもとに、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰について理解する。また冷戦を構造的に理解し、対立するイデオロギーのもとにおける各国の動向や各地域への影響について考察する。
3 学 期	第4部 グローバル化と私たち ・第2章 冷戦で揺れる世界と日本 1節～4節 ・第3章 多極化する世界 1節～5節 ・第4章 グローバル化のなかの世界と日本 1節～3節 【3学期 学年末試験】 3月4日～9日	冷戦中にアメリカが抱えた諸問題を理解するとともに、それらが国際社会に与えた影響について理解する。また日本の経済回復の要因を探り、その中で、日本を取り巻く周辺諸国やアメリカとの関係性について考察する。 冷戦の終結に伴って、国際社会がどのように変化したのかを理解し、新たな国際秩序の中における日本の立ち位置と今後について多面的・多角的な視点で考察する。